インカ・スリング 取扱説明書

ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、インカ・スリングをご使用下さい。
又、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいて下さい。

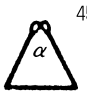
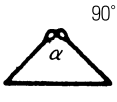
この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の 2 段階に区分しています。

⚠ **危険**	取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡、または重傷を負う可能性が高いと考えられる場合。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、障害を負う可能性が高いと考えられる場合、及び物的損害、スリング本体の損傷が考えられる場合。 尚、『注意』に記載した事項でも、取扱い方法によっては『危険』と同じ状況になる場合があります。

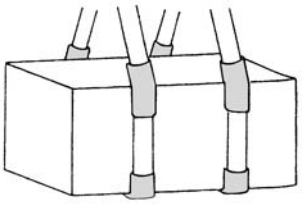
❶ インカ・スリングの選定にあたって

⚠ **危険**

- ご使用に際してラベルに基本使用荷重が表示されているインカ･スリング(以下スリングという)を使用して下さい。
- 使用前にスリングに外観上不具合がないか調べて下さい。
  外観上不具合のあるスリングや荷重限度が不明なものは決して使用しないで下さい。外観上の不具合については、❹点検にあたって を参照して下さい。
- スリングは、吊り方、吊り角度、使用荷重等を確認の上、安全率 6 倍以上確保出来るように選定して下さい。荷の吊り方、吊り角度により、下表の通り最大使用荷重が変化します。ご注意下さい。決して荷重超過で使用しないで下さい。
  なお玉掛作業は法定有資格者が行うよう定められていますので遵守して下さい。

吊り方	ストレート吊り	目通し吊り（チョーク吊り）	バスケット吊り		
					
つり角度	–	–	α≦0°	α≦45°	45°＜α≦90°
モード係数	1.0	0.8	2.0	1.8	1.4

- スリングで荷を吊る場合、摩耗のおそれのある荷や、シャープエッジのある荷を吊る場合、基本使用荷重が低下しますのでコーナーパットを使用して下さい。



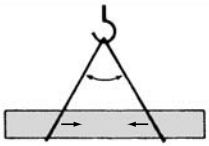
INKA

❷ 玉掛作業環境にあたって

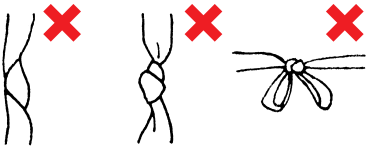
危険

- スリングの使用可能温度は、－30℃～100℃です。50℃～100℃では、安全のため容量の50%程度の余裕をもってご使用下さい。
- 荷を吊り上げる際は、適切なフックを使用して下さい。フックは表面が滑らかで接触面のへりは丸く削ってあるものを使用して下さい。
- 玉掛作業を行う場合アイ部の角度が60度以内になるようにフックやピンを固定して下さい。無理に大きなフックやピンを使用しますと強度が低下しますのでご注意下さい。

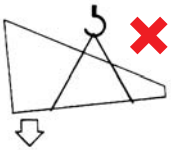
- 水、油等で濡れているスリングを使用する場合、荷が滑りやすくなりますので荷の横滑りに注意して下さい。また乾いたスリングをご使用になる場合でも、荷はバランスよく吊って下さい。横滑りしますと切断の可能性があります。



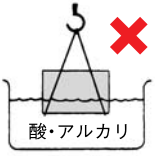
- 吊り角度が大きい場合、荷を吊り上げるとき横滑りが発生しスリングをいためる事があります。吊り角度は出来るだけ60度以内にして下さい。
- スリングはねじれた状態では使用しないで下さい。また、結び目のあるもの、２本以上のスリングを結んだ状態のもの、互いに引っかけた状態では決して使用しないで下さい。



- ２本以上のスリングを使用して荷を吊る場合、片荷にならないように、また１本にかかる重量が超過しないように注意して下さい。



- スリングを放り投げたり、地面や粗い表面上で引きずったり、荷の下から無理やり引き抜いたりしないで下さい。また、荷をスリングの上に置きっぱなしにしないで下さい。スリングの破損の原因になります。
- 吊り荷を急に引っ張ったり、ショックを与えたりしないで下さい。荷の上げ降ろしはゆっくり行い、吊り荷の下へは絶対に入らないで下さい。
- 点検の結果廃棄することになったスリングは、補修したり、基本使用荷重を減らす等して再使用しないで下さい。
- 荷を吊ったまま長時間放置しないで下さい。
- 薬品の雰囲気内ではご使用にならないで下さい。



注意

- 玉掛作業中はスリングと荷の間や荷と地面の間に手や足等を挟まれないよう十分注意して作業を行って下さい。
- 玉掛作業中、本来の玉掛位置以外にスリングが引っかからないよう十分注意して作業を行って下さい。
- スリングは繊維製ですので色落する場合があります。

❸ 保管にあたって

注意

- 使用時期が容易に確認出来るように、管理台帳や管理番号により使用開始時期を明確にしておいて下さい。
- スリングを使用しない場合は、清潔で、乾燥した、よく換気された状態の温度が均一の部屋の中で、非腐食性の棚等において、熱源、薬品、溶剤、太陽光、紫外線などの影響を受けないところに保管して下さい。
- スリングの保存前に使用時に起こりえた損傷の有無を調べて下さい。
  損傷が認められたスリングは、その場で切断し完全に使用できない状態にして下さい。
- スリングが汚れた場合は中性洗剤を使用して冷水で洗って下さい。

❹ 点検にあたって

危険

- ラベルにより基本使用荷重が確認できないものは使用しないで下さい。

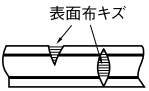
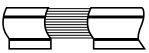
- 点検の結果廃棄することになったスリングは、その場で切断して完全に使用できない状態にしてから廃棄して下さい。
- コーナーパットを使用している場合はコーナーパットを移動させて隠れている本体部分及びコーナーパット自体も点検して下さい。
- スリングは少なくとも使用ごとに適切な検査を行い、具体的には以下の点検基準により継続使用可能かどうか確認して下さい。

ラウンドスリングの点検基準

ラウンドスリングは、日常点検及び定期点検を行って使用して下さい。

・日常点検　　使用前に行う点検をいう。
・定期点検　　定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として１か月ごとに行う。

点検項目、点検方法及び廃棄基準は、下記の通りです。

点検項目	点検の種類		点検方法	廃　棄　基　準
	日常	定期		
表面布の損傷	○	○	目視	アイ、本体部などの表面布が破損して、心体が確認できるもの。 
接合部及び連結部の縫糸の損傷	○	○	目視	表面布の接合部及び連結部の縫糸がほつれて、心体が確認できるもの。 
その他の外観異常	○	○	目視	①表面布に、摩擦、熱、薬品などによる著しい毛羽立ち、変色、着色、溶融、溶解、腐食などの異常が認められるもの。 ②汚れが著しいために、使用可否の判定ができないもの。
心体の異常	○	○	感触	心体が部分的に硬くなって、太さの不均一さの目立つもの。
使用期間	ー	○	管理台帳、表示などの確認	使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間を越えるもの。 ・屋内で使用する場合 使用開始後７年を経過したもの。 ・常時屋外で使用する場合 使用開始後３年を経過したもの。

ベルトスリングの点検基準

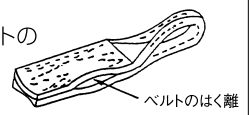
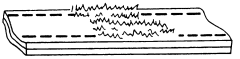
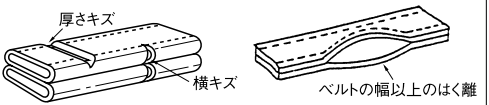
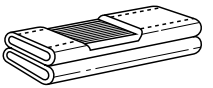
INKA THE POWER

ベルトスリングは、日常点検及び定期点検を行って使用して下さい。

・日常点検　　使用前に行う点検をいう。

・定期点検　　定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として１か月ごとに行う。

点検項目、点検方法及び廃棄基準は、下記の通りです。

点検項目		点検の種類 日常	点検の種類 定期	点検方法	廃棄基準
損傷の状態（摩耗、きず及び縫糸の切断）	ⓐアイ	○	○	目視	①織目がわからないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 ②目立ったきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 ③縫糸が切断して、アイの形状が保たれないもの。
	ⓑ縫製部	○	○	目視	①目立ったきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 ②縫糸が切断して、ベルトのはく（剥）離が少しでも認められるもの。 
	ⓒ本体	○	○	目視	①全幅にわたって織目がわからないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。  ②幅方向に幅の1/10、又は厚さ方向に厚さの1/5に相当するきりきず、すりきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。  ③縫糸が切断して、幅以上の長さにわたってはく（剥）離しているもの。
	ⓓ使用限界標示の露出又は消失	○	○	目視	使用限界標示のあるものは、摩耗、きずによってアイ、縫製部又は本体のいずれかの部分において、標示が著しく露出又は消失したもの。 
その他の外観異常		○	○	目視	熱や薬品などによる著しい変色、着色、溶融、溶解などが認められるもの。
使用期間		−	○	管理台帳、表示などの確認	使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間を越えるもの。 ・屋内で使用する場合 使用開始後７年を経過したもの。 ・常時屋外で使用する場合 使用開始後３年を経過したもの。
当てもの		○	○	目視	著しく変形又は破損したもの。